

資料 6. 家庭系ごみ質組成調査結果概要

実施時期：平成 27 年 6 月 23 日～7 月 10 日のうち計 10 日間

対象地区：手広、材木座、腰越、由比ガ浜、笛田、植木、小町、大船、山崎 9 地区

七里ガ浜、鎌倉山、山ノ内 戸別収集 3 地区 合計 12 地区全 24 回

調査方法：各地区で収集された燃やすごみのうち、200kg を対象

表 資源物の混入割合（湿重量比）

内容	構成		分別区分	資源化の可能性	
	重量(kg)	比率			
紙類	新聞紙(折込広告を含む)	76,985	0.32%	紙類	○
	雑誌(本を含む)	103,581	0.43%	紙類	○
	段ボール 宅配郵便	129	0.00%	紙類	○
	段ボール その他	62,627	0.26%	紙類	○
	紙バック アルミ付	47,037	0.19%	紙バック	○
	紙バック アルミ無し	76,759	0.32%	紙バック	○
	ボール紙 容器包装	205,507	0.85%	紙類	○
	ボール紙 非容器包装	15,244	0.06%	紙類	○
	カップ型容器 容器包装	58,440	0.24%	ミックスペーパー	○
	カップ型容器 非容器包装	424	0.00%	ミックスペーパー	○
	紙コップ・紙皿	16,024	0.07%	ミックスペーパー	○
	その他紙類 容器包装	43,864	0.18%	ミックスペーパー	○
	その他紙類 紙おむつ	491,201	2.03%	燃やすごみ	×
	その他紙類 汚れた紙類	2,692,844	11.13%	燃やすごみ	×
	その他紙類 その他	612,883	2.53%	ミックスペーパー	○
小計	4,503,550	18.62%			
紙類のうち資源化の可能性のあるもの小計	1,319,505	5.45%			
プラスチック類	ペットボトル 500ml以下	10,120	0.04%	ペットボトル	○
	ペットボトル 501ml以上	1,851	0.01%	ペットボトル	○
	発泡スチロール類 白色トレイ	5,187	0.02%	容器包装プラスチック	○
	発泡スチロール類 色付きトレイ	3,478	0.01%	容器包装プラスチック	○
	発泡スチロール類 その他魚箱	1,537	0.01%	容器包装プラスチック	○
	容器包装該当 排出容器(外装)以外の容器類	339,675	1.40%	容器包装プラスチック	○
	容器包装該当 排出容器(外装)以外の包装類	365,348	1.51%	容器包装プラスチック	○
	製品プラスチック	49,213	0.20%	製品プラスチック	○
	容器包装 製品非該当プラスチック等	822,971	3.40%	燃やすごみ	×
	容器包装該当 排出容器(外装)以外の袋	240,036	0.99%	容器包装プラスチック	○
	容器包装非該当 排出容器(外装)以外の袋	19,284	0.08%	燃やすごみ	×
小計	1,858,698	7.68%			
プラスチック類のうち資源化の可能性のあるもの小計	1,016,444	4.20%			
木竹類	植木剪定材 木・草類	266,291	1.10%	植木剪定材	○
	植木剪定材 竹・シュロ類	3,003	0.01%	植木剪定材	○
	植木剪定材以外	302,285	1.25%	燃やすごみ	×
	小計	571,579	2.36%		
木竹類のうち資源化の可能性のあるもの小計	269,294	1.11%			
厨芥類	料理残渣等厨芥類	12,718,207	52.57%	燃やすごみ	×
	未開封の厨芥類(保存食、冷凍食品)	28,949	0.12%	燃やすごみ	×
	未開封の厨芥類(野菜・果物・肉・魚)	81,613	0.34%	燃やすごみ	×
	未開封の厨芥類(加工品類)	56,988	0.24%	燃やすごみ	×
	未開封の厨芥類(調理品)	51,363	0.21%	燃やすごみ	×
	未開封の厨芥類(その他)	206,846	0.86%	燃やすごみ	×
	小計	13,143,966	54.33%		
厨芥類のうち資源化の可能性のあるもの小計	0	0.00%			
繊維類	衣類 背広・コート類	21,506	0.09%	布類	○
	衣類 その他	262,379	1.08%	布類	○
	衣類以外	125,296	0.52%	布類	○
	リサイクルできない布類	398,252	1.65%	燃やすごみ	×
	小計	807,432	3.34%		
繊維類のうち資源化の可能性のあるもの小計	409,181	1.69%			
その他可燃物	皮革・ゴム類	296,181	1.22%	燃やすごみ	×
	その他 可燃物	2,668,099	11.03%	燃やすごみ	×
	小計	2,964,280	12.25%		
その他可燃物のうち資源化の可能性のあるもの小計	0	0.00%			
金属・ガラス類	金属類 飲食用アルミ缶	1,547	0.01%	カン・ビン	○
	金属類 飲食用以外アルミ缶	867	0.00%	カン・ビン	○
	金属類 飲食用スチール缶	604	0.00%	カン・ビン	○
	金属類 飲食用以外スチール缶	560	0.00%	カン・ビン	○
	金属類 その他	15,051	0.06%	燃えないごみ	×
	ガラス類 びん類	17,637	0.07%	燃えないごみ	×
	ガラス類 その他	914	0.00%	燃えないごみ	×
	小計	37,181	0.15%		
金属ガラス類のうち資源化の可能性のあるもの小計	3,579	0.01%			
その他不燃物	危険物等 危険・有害ごみ	7,237	0.03%	危険・有害ごみ	×
	危険物等 排出禁止物	16,109	0.07%	排出禁止物	×
	小型家電	68,680	0.28%	燃えないごみ	○
	不燃物 その他	7,034	0.03%	燃えないごみ	×
	小計	99,060	0.41%		
その他不燃物のうち資源化の可能性のあるもの小計	68,680	0.28%			
排出容器等	容器包装該当排出袋	0	0.00%	容器包装プラスチック	○
	容器包装非該当排出袋	0	0.00%	燃やすごみ	×
	容器包装 有料袋	205,253	0.85%	燃やすごみ	×
	小計	205,253	0.85%		
排出容器等のうち資源化の可能性のあるもの小計	0	0.00%			
合計	24,191,000	100%			
うち資源化の可能性のあるもの合計	3,086,683	12.76%			

湿重量比では、厨芥類が約 54%と半分以上の割合を占め、紙類が 19%、その他可燃物が約 12%となっていた。なお、容積比ではプラスチック類が約 30%、紙類が約 27%であり、湿重量比では半分以上を占めた厨芥類（容積比では約 18%）よりも多くの割合を占めていた。

燃やすごみへの資源物の混入割合は、湿重量比で約 13%、容積比で約 36%であった。混入していた資源物としては、紙類が約 5%、プラスチック類が約 4%であり、品目としてミックスペーパーや容器包装プラスチックが大きな割合を占めていた。

表 地区ごとの混入割合（湿重量比）

(単位：%)

クリーンステーション収集地区											戸別収集地区				全地区平均
分類項目	材木座	由比ガ浜	小町	手広	腰越	笹田	大船	植木	山崎	9地区平均	山ノ内	七里ガ浜	鎌倉山	戸別地区平均	
燃やすごみ	85.32	86.12	87.78	91.5	89.22	90.08	82.78	77.91	84.65	86.15	90.6	90.8	87.3	89.57	87.01
(うち厨芥類)	54.9	53	55.48	64.39	58.28	62.81	50.43	41.87	37.38	53.17	61.52	57.08	54.87	57.82	54.33
紙類	2.11	1.19	1.28	1.73	2.09	1.4	3.3	2.12	2.22	1.94	1.99	1.77	1.83	1.86	1.92
布類	1.75	3.6	0.2	0.4	0.58	0.98	0.79	8.6	1.69	2.07	0.6	0.46	0.65	0.57	1.69
紙パック	0.31	0.35	0.34	0.35	0.74	0.56	1.05	0.61	0.72	0.56	0.4	0.39	0.33	0.37	0.51
ミックスペーパー	3.16	4.31	3.12	2.05	2.01	2.21	4.14	3.11	4.63	3.19	1.58	2.04	3.93	2.52	3.02
ペットボトル	0.11	0	0.06	0.01	0.02	0.01	0.16	0.06	0.04	0.05	0	0.05	0.07	0.04	0.05
容器包装プラスチック	4.57	3.34	4.22	2.97	3.71	3.89	6.33	3.41	3.49	3.99	3.07	3.31	4.73	3.70	3.92
製品プラスチック	0.02	0.17	0.04	0.08	0.36	0.04	0.01	0.61	0.52	0.21	0.45	0.14	0	0.20	0.20
植木剪定材	2.21	0.76	2.62	0.86	0.94	0.55	0.54	0.96	1.65	1.23	1.19	0.63	0.46	0.76	1.11
カン・ビン	0.02	0	0.02	0.03	0.04	0.06	0.01	0	0	0.02	0	0	0	0	0.02
資源物計	14.25	13.73	11.9	8.48	10.49	9.69	16.33	19.49	14.95	13.26	9.26	8.8	12	10.02	12.45
燃えないごみ	0.41	0.11	0.31	0.02	0.17	0.2	0.68	2.58	0.13	0.51	0.11	0.37	0.34	0.27	0.45
危険・有害ごみ	0.02	0.04	0	0	0.12	0.02	0	0.03	0	0.03	0.04	0.04	0.05	0.04	0.03
排出禁止物	0	0	0.01	0	0	0.01	0.21	0	0.26	0.05	0	0	0.32	0.11	0.07

※平成 27 年度は有料袋の内容についての調査（無料袋で排出されている紙おむつは含まれない）

地区ごとの混入割合（湿重量比）を比較すると、クリーンステーション地区 9 地区の平均は約 13%であり、戸別収集地区 3 地区の平均は約 12%であった。クリーンステーション地区の中でも、約 8%から約 19%まで地区によって混入割合に差異が見受けられた。